

老婆心ながら、素人がサッカー 日本代表に一過言

くねべてかち

先日のアジア杯で早々に敗退し、ベスト8にすら残れなかった日本代表。主力選手は自分たちが情けなかったからか、「自分が悪い」「自分たちが弱かった」と繰り返した。

「何故、自分を卑下するのか？ 『もっとやれたはずなのに！ 悔しい』と何故言えないのか……」

テレビや記事を見て、私は思った。

協会に対して、マスコミに対して、試合を見た一般視聴者に対して、まであれこれ考えるなら、

卑下さえしていれば誰も傷つかないし、迷惑もかからないだろう。

しかし、一緒に戦った代表選手も、「未来」の代表選手も、強い日本代表に期待するサポーターたちも、主力選手の発言には強い関心を持っているはずだし。

そういう人にしたら、

彼らが「自分たちが弱いから負けた」という主旨の発言を軽々しくすることに良い気分はしないはず。

仲間であり、一番の味方に対してこそ配慮した発言を何故しないのだろうか
私はいつも思ってしまうのだ。

今のサッカー日本代表には、アギーレ監督の八百長疑惑があり、さらにその奥底で、アギーレ氏をよく調べもせずに監督に決めた協会のお偉い方に対しての任命責任も陰口のように言われはじめている。

しかし、そこを表沙汰にして、監督とそのお偉いさんが責任を取ったところで、今のままでは、代わりにそのポジションに就いた者もどこかのタイミングで失敗を繰り返すだけではなかろうか。

そう、日本人の国民性というものをもっと研究しないかぎりには。

現時点で、アギーレ監督の去就については、
代表選手たちは「気にしない」「アギーレの元で頑張るだけ」としているが、
それについては、日本代表の選手たちは取り巻く環境がそう言わせているだけかもしれないし、
アギーレ監督の指導に光るものを感じ、本気で支持している上での発言かもしれない。
真相は分からないが、今回のアジア杯敗退をみると、悪い影響は間違いなく「ある」と言っ
ていい。
結果がすべての世界では、「勝ち負け」は常に「答え」である。

例えば、アギーレ監督のポテンシャルだけを評価すると……という観点に立って正当な評価
をすべき
という意見は、スポーツ界に限らず、日本でこの手のことが起こると必ず検討されるテーマで
あるが、
しかしそれは、選手が人間であること、そして日本人であるということを見下すことはいま
いか。

協会からのプレッシャーやマスコミの奇異な目を気にして、
マイクを向けられて発言する内容を自ら制限するような気配り人間が、
疑惑ゆえにマスコミを味方にできない監督の元でプレイして、良い結果を残せるとはとても思
えない。
もしも選手のなかに、いまだにブラジルW杯の惨敗を引きずってる者がいるとしたら、なお
さらである。

さらに、窮地に立つ監督というものは勝つことで外野を黙らせたいと焦るあまり、
次のW杯での勝利を最優先とした長い目でみた選手起用を捨て、
今考えられるベストメンバーを召集して何が何でも勝ちにくる。
ブラジルW杯惨敗でいまだ心に傷を持つ者の「メンタル」なんてお構いなしで。

まさに悪循環である。

しかし、選手は日本人なのだ。メンタル次第で能力が全然発揮できなくなる日本人なので
ある。

テレビに出てる芸能人を見れば、今の日本の若者たちの、もっともわがままな部類の人間が
どうしているのかは手に取るように分かる。

そして、そういう人間を少し小粒にしたような人間が、それぞれの小学校、中学校、高校で
「同級生」として存在し、それぞれのクラスで他の生徒たちのメンタルに訴えかける発言をし
てきている。

サッカー日本代表と全然関係ない話に思われたかもしれないが、
「日本人 = 他人の目を気にし、他人に影響されやすい国民」なのだから、そこは絶対に無視
できない。

スポーツで秀でた者は唯我独尊だから、
そんな影響など受けていないと決めつけるのは上の世代の悪い癖！
あるゆる世界で若者のメンタルは昔より弱くなっているが、
スポーツ選手も例外ではないと想定すべきなのだ。

アギーレ監督は外国人だから、そこまで加味した代表メンバーの人選は当然無理なので、
サッカー協会が本当に機能すべきはこういうところに目配りし、的確に対応することだと言
いたい。
ところが、上の世代ほど「自分たちの時代はこうだった」と視野がせまくなるのも日本人の国
民性。

ここまで言うてしまうと、「日本代表は未来永劫、サッカー強豪国になれない」
ということになってしまうが、そういうことが言いたいわけではない。

サッカー日本代表が強豪国になるためには、
しっかりとした予算をかけ、ポテンシャルの高い監督の人選と選手の努力が全てなどという
今の考え方を捨て、日本人の国民性の理解と研究、協会に属する年長者のサポート能力向上、
サポーターのレベルUPなどなど、他に必要なものは何かを常に探求する貪欲さが大事だ。

マスコミなどを通じて、「サポーターは常に応援者たれ！常に肯定者たれ！」的な誘導の存
在も

感じなくもないが、そもそも選手のメンタルが強くなれば、選手自身の口から
「俺たちの活躍を期待して見ていてくれ！」「我々が負けて帰ってきたときは罵倒してくれて
いい！」

と自信をもって言えるレベルに自然となるはずだし、そういう段階になれば、
サッカーマスコミのほうも目が肥えてレベルUPしてくるし、期待できる日本人監督も出てく

るだろう。

ブラジルW杯直前には「優勝する！」などと言っていた日本代表選手たちも、結果は「予選リーグ 1分け2敗」でグループ4位（最下位）。

コートジボワール戦で敗れた直後には、
「1点先制した段階で、オフenseとディフェンスで意思統一できず、1点を守るサッカーをするか、追加点を取りに行くサッカーをするかでちぐはぐになってしまった」と言い、

ギリシャ戦で引き分けてしまった直後には、
「ギリシャの選手が1人退場した後にながっちり守られ、点を取れなかった」と率直な感想を選手たちは述べていたが、

私などは、コートジボワール戦で1点先制することも、ギリシャが引き分け狙いでがっちり守ってくれることも想定していなかったのか？と疑問に思ってしまう。なぜなんだ！？

想定できていなかったり、想定できていても打開策がなかったチームが「優勝する！」は駄目でしょ。

こういうことを言うと、あるいは私という奇異な目を気にしてマスコミ対応をより慎重にしてくるだけかもしれないが、「ミーティングをやってるんだろ！？ 想定できることは、前もって話し合っ、全員で打開策を見つけておけよ」という当たり前のことを取り入れてほしいだけだ。

そして、私がこういうことを最後に述べたのも、自分で空気を読んで言われなくてもできるように、なるべくするということを求める国民性が日本人にはあるので、逆に言うておくべきと考えたからだ。

言われなくてもできるように、は幻想だ。無理だってことは、上述の通り、テレビを見ていれば分かる。

本来、サッカーを熟知した者が指摘すべきことだが
先人たちは、分かっててあえて言わなかったのか、気づかなかったのかは分からないが、
ここまでの時点で誰も言い出さなかったのも、現時点で気づいた者として一過言言わせていた
だいた。

繰り返すが、言われなくてもできるように、は幻想なのだ。

そして、「腑に落ちない」と意外と先に進めないのが日本人なのだ。

もちろん、この通りにしろって提言でなく、理論の1つとして末席に加えていただきたい
だけである。

自分が実績もなく無名の人物であることは重々理解しているので、黙殺されても一向に構わ
ない。

これで本当に最後となるが、今年のブラジルW杯を見た感想を言うと、
日本代表が真に強豪国となって優勝を語れるようなレベルになるには、
ハメス・ロドリゲス級のワールドクラスの選手が日本代表のなかに現れ、かつ、上記で書いた
ように

「前もって話し合っておくべきこと全てに事前に気づき、かつ、ミーティングの場でそれを協
議できる者」

が代表のなかに加わってくることがきっと必須なのだろう。

そして、残念ながらそれは今の世代の代表選手ではないと感じる。

ジュニア時代から欧州の名門クラブに所属し、いずれ間違いなく強豪国の中心選手になるよう
な

選手たちと若いうちから接し、そのレベルの選手の脳内や行動パターンが理解でき、
自らも実践できていること。

日本人にも、テニスの錦織圭選手という素晴らしい前例がいるのだから、可能性は十分ある。

.....未来のサッカー日本代表に、大いに、大いに期待している！

今の代表に言うことがあるとしたら、今の日本サッカーは歴史がまだ浅く、

「世界」に触れ「世界」を知っているのはまだ選手だけって段階なんだから、選手たちが自分たちで責任を負う覚悟で、最適な戦術のチョイスと、最適な監督の人選を選手自らでやろうってくらいの大博打をして、かつ当たりくじを引くラッキーに恵まれないと階段を一足飛びで、いきなりW杯優勝可能レベルには達しないと思い「ます」が。

叱咤＝激励ととらえてくれると有難いが。まあ、無理かな。